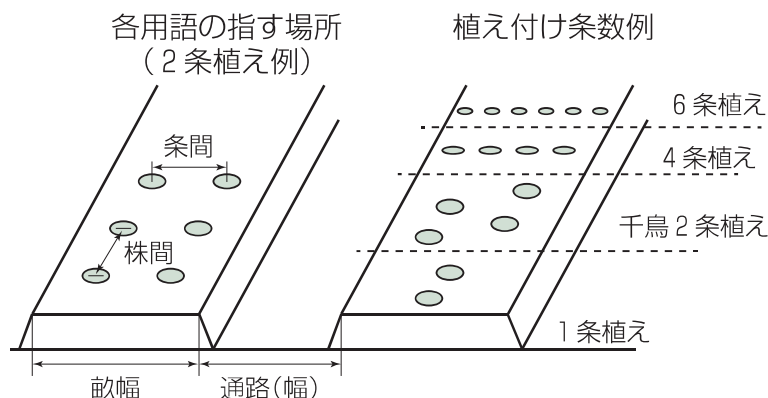


栽培情報

栽培情報における定植密度の記載方法は以下の通りです。
株間(cm)×条間(cm)〔○条植え〕、畝幅(cm)、通路(cm)、定植本数(株)/坪
 (床を作らない作物の場合、便宜上畝幅を0cmとしております。)



※各作物において一般的と思われる株間×条間、畝幅、通路幅を設定し、畝幅：通路＝1：1の条件で坪あたり定植本数を割り出した値を参考までに記載しております。お客様の設定によって坪あたり定植本数は変動いたします事をご承知おください。

ア行

アゲラタム

P.85

■播種

発芽適温 20℃ 標準播種量約 8,000 粒/a

■作型

11～6 月出荷…7～9 月播種（暖地）。

6/下～10/中出荷

…3 月播種、4 月定植（高冷地）。

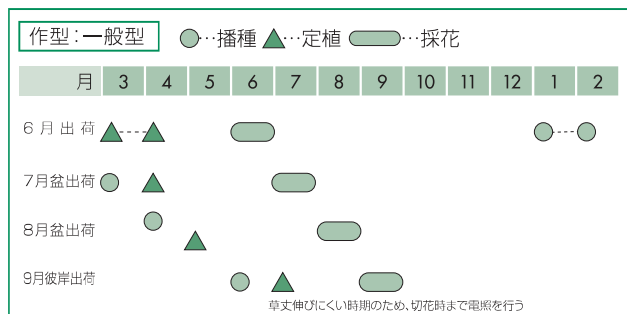
■定植密度

株間 30cm×条間 30cm〔2 条植え〕 畝幅 50cm 通路 60cm 約 20 株/坪

アスター

P.29

■作型



■定植密度

株間 15cm×条間 15cm〔6 条植え〕 畝幅 90cm 通路 60cm 88 本/坪

■育苗

発芽適温は 18℃。播種から 1 週間程度で発芽が揃う。播種する際には薄く覆土する。

■圃場準備

定植前に土壌消毒を徹底する。土壌 pH は 6.5 前後、EC は 0.3～0.5mS/cm が望ましい。元肥として、1a あたり完熟堆肥 200kg、N-P-K は各成分で 1～1.5kg ずつを目安として施与する。

アスチルベ

P.107

■作型

4～5 月出荷（促成）

…11 月定植。自然低温に遭わせた後、1/下からの加温により出荷期を調整。

6～7 月出荷（季咲き）

…11 月定植、露地栽培。

■定植密度

株間 40cm×条間 40cm〔2 条植え〕 畝幅 90cm 通路 60cm 約 10 株/坪

■その他

切 り 前…花が十分開き満開になってから切る。一度しおれるとその後は水揚げしないので注意。水揚げ剤を必ず使用する。

切 花 長…定植 1 年目は草丈がやや低めとなる。

アストランチア

P.107

■作型

5～7 月出荷（季咲き）…10～11 月定植。露地栽培。

■定植密度

株間 30～40cm×条間 30～40cm〔2 条植え〕 畝幅 60cm 通路 60cm 約 18 株/坪

■その他

土 壌…腐植質に富んだ、水はけの良い土壌。強い乾燥を避ける。

株 分 け…3 年ぐらいして株が込み合ってきたら、掘り上げて植え広げる。

切 花 本 数…定植 1 年目は 1～3 本 2 年目には 5～8 本

アマランサス

P.85

■播種

発芽適温 20～25℃ 標準播種量（直播）約 40,000～60,000 粒/a（移植）約 20,000～30,000 粒/a（10g＝約 12,000 粒）

■作型

7～8 月出荷…5/上～6/下直播き（低温期以外）、またはプラグ播き。

■定植密度

株間 12cm×条間 12cm [6 条植え]
畝幅 72cm 通路 60cm 約 125 株/坪
株間 12cm×条間 12cm [7 条植え]
畝幅 84cm 通路 60cm 約 134 株/坪

■その他

遅霜の心配がなくなってから播種または定植する。
梅雨時の曇天が長く続いた場合、短小開花することがあるので注意する。
手ごろな太さに仕立てやすいのでノーピンチ栽培とする。
元肥はほとんどの場合、前作の残りのみとし、不足した場合は生育に応じて適宜追肥する。
草丈が高くなるので、倒伏防止に目の粗いネットかヒモを張る。
清潔な水で十分に水揚げする。

アルケミラ

P.107

■作型

5～7 月出荷（季咲き）…11 月定植、露地栽培。

■定植密度

株間 30cm×条間 30cm[2 条植え] 畝幅 60cm 通路 60cm 約 18 株/坪

■その他

管 理…開花期に雨が当たると切花の品質が落ちるので、簡単な雨よけをすると良い。
病 害 虫…アブラムシが付きやすいので注意。
草丈を伸ばすには、冬期充分な低温を与え、伸長期には水分を切らさないようにする。若干の遮光も、草丈を伸ばすのに効果がある。

エキノプス

P.108

■作型

6～8 月出荷（季咲き）…4 月、11 月定植。露地栽培。

■定植密度

株間 30cm×条間 60cm [2 条植え]
畝幅 120cm 通路 60cm 約 12 株/坪

■その他

土 壌…水はけ良く、石灰質を含む土壌
管 理…高温多湿に弱い。夏は 50% 程度の遮光により下葉の枯上がりを防ぐ。4～5 年据置栽培が可能。
害 虫…シンクイムシ、ハマキムシ、アブラムシに注意。

オキシペタラム（ブルースター）

P.85

■播種

発芽適温 18～20℃（発芽温度を保てばいつでも播種は可能）
標準播種量（直播）約 1,600 粒/a
播種の方法
播種ボックスに播種後本葉が出てきたら 7.5cm ポットにとり育苗する。
もしくはプラグに播種し育苗しプラグを定植する。
種子には休眠性があるので、発芽を揃わせるためには播種の前にジベレリン処理を行うのが好ましい。
ジベレリン処理の方法は、

- ① 100ppm のジベレリンに 24 時間浸漬処理
- ② 流水で 24 時間洗浄
- ③ 播種し易くするために軽く乾燥
- ④ 播種し 18 度以上で管理
- ⑤ 2 週間ほどで発芽
- ⑥ 本葉が出てきたらポットに鉢上げを行う

播種から定植までの日数は 50 日が目安となる。

■作型

周年出荷…12～8 月播き、3～10 月ハウス内定植。11～3 月は電照。冬季最低 5℃ に保加温、出荷の場合は 15℃ に加温。春定植の場合は定植後 2～3 ヶ月後より開花。秋定植の場合は 5～6 ヶ月後より開花。

■定植密度

株間 30cm×条間 30cm [2 条植え]
畝幅 60cm 通路 60cm 約 18 株/坪
株間 20cm×条間 20cm [4 条植え]
畝幅 80cm 通路 60cm 約 47 株/坪
株間 15cm×条間 15cm [4 条植え]
畝幅 60cm 通路 60cm 約 73 株/坪
＊2 条植えの場合はピンチ栽培、4 条植えの場合はノーピンチ栽培

■その他

宿根性のため、据え置き栽培可能（2～3 年が目安）。
採花後は切り口から白い乳状の液が出てくるので、水揚げ処理（乳汁が固まった後にブラシでこすり取るなど）が必要。

おみなえし

P.108

■作型

7～8 月出荷（季咲き）
…早生飛鳥を利用。前年 10～11 月定植。露地栽培。
9～10 月出荷（季咲き）
…晩生大久保を利用。前年 10～11 月定植。露地栽培。
晩生の大久保はピンチ栽培も可能。

■定植密度

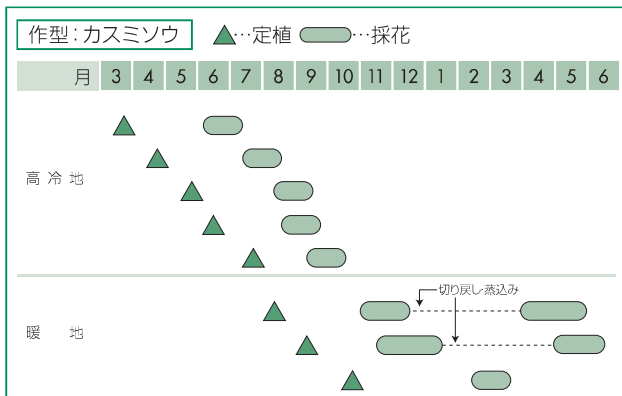
株間 30cm×条間 30cm[2 条植え] 畝幅 60cm 通路 60cm 約 18 株/坪

カ行

カスミソウ

P.45

■作型



※作型例はあくまで目安ですので、定植苗の形態や加温・電照管理、ピンチ方法によって異なる場合があります。ご注意ください。

■定植密度

株間 40cm×条間 40cm[2 条植え] 畝幅 80cm 通路 60cm 12 株/坪
株間 45cm×条間 45cm[2 条植え] 畝幅 90cm 通路 60cm 10 株/坪
株間 30cm[1 条植え] 畝幅 40cm 通路 50cm 約 12 株/坪

■栽培のポイント

定植期が高温となる時期は定植前後に遮光を行って地温を下げることでスムーズな活着を促すことができる。水管理は、生育初期は比較的水を必要とするため灌水は多めに管理し、生育の中後期は切花品質を向上させるために灌水を控えて圃場を乾燥気味に管理する。温度管理は昼温 20～25℃ が理想である。特に発蕾期前後は奇形花を発生させないために夜温が 20 度以上にならないように管理する。秋～冬の低温期に採花を行う場合は低温の影響で花弁がピンク色に変化するのを回避するために加温を行う。紫外線カットフィルムもピンク花の軽減に有効。電照は開花促進や節間伸長の効果がある。9 月中下旬以降を目安とした低日照期には深夜電照か早朝電照で 16 時間日長となるように行い、出蕾後は電照を切る。冬期の加温設定は 12℃ 以上が推奨。

■圃場準備

土壌は耕土が深く、石灰質、腐植質に富み、日当たりと水はけが良い土地を選ぶ。最適 pH は 6.5～7.0 で EC は 0.5 以下が望ましい。定植前には土壌消毒を行う。元肥は N・P・K のそれぞれ 1a 当

たり 1~1.5kg が基準となる。

■ピンチ

ピンチは主に低節ピンチと高節ピンチの2種類がある。低節ピンチではピンチ後に4~5本に芽を仕立ててボリュームのある切花を採花する。高節ピンチでは芽の仕立てはあまり行わず採花本数を確保する。また、場合によっては2度ピンチ（ダブルピンチ）を行うこともあり、採花本数確保や生長のコントロールなど経営方針によって使い分ける。

■水切り

生育の中後期の過灌水は茎が軟弱化し、花首が伸長するなどの切り花品質の低下につながる。それを回避するために生育中後期は灌水を控えて圃場を乾燥気味に管理する。水はけが悪い土地では高畝にすると良い。

■収穫

花蕾が20%前後開花したところが収穫適期である。収穫後は早い段階でSTSを含んだ前処理剤で処理すると花持ちが大幅に向上する。

■前処理に関するアドバイス

カスミソウは他品目に比べると花持ちの悪い花という印象が市場や生花店では強い。これは、今までの中心的な用途であった婚礼などに代表される業務利用では、その日1日から数日間花が持てば問題なかったため、できるだけ多くの花を咲かせた状態で出荷することを求められていたためである。しかしホームユースが増加している現在では、少なくとも1週間以上の花持ち期間が必要となる。カスミソウの需要拡大には花持ち期間の延長が重要で、そのためには生産者サイドでの採花後の前処理を行うことが必須となる。

■前処理の注意点

①バクテリア対策

…採花・調整に使用する道具は清潔に出荷までに使用する道具は、花切ばさみ（良く切れるもの）や処理用のバケツなどは清潔に保つこと。清潔に保たないとそこから水揚げ阻害につながるバクテリアを持ち込むことになる。

②切り前

…切り前は前処理を行うことを前提として、収穫する部分の一番下の枝の先の蕾が開花した段階（全ての蕾の20%程度が開花した段階）が最適。収穫段階で未開花の蕾は前処理で糖分を与えることで開花させる。

③出荷前の処理（前処理）※重要

…前処理剤には花を老けさせるエチレンの作用を抑えるSTSと蕾を開花させる栄養源となる糖、バクテリアの増殖を抑える殺菌剤などが含まれている。花持ち延長に前処理剤の使用は必要不可欠なので、必ず行うことが大切。使用濃度は所定濃度で6~12時間が目安（長時間の処理を行うとSTSの薬害が発生するので気をつけること）。温度条件については、極端な低温下での処理は効果が低くなる（低温下では処理液の吸収が悪いため、20℃程度の室温が理想）。照明を点灯すると処理剤の吸収を促進することが可能。処理剤は再利用や注ぎ足しを繰り返すとバクテリアが増殖して処理効果が低くなるため、その都度使い切ること。

④前処理方法…6時間程度の前処理では、STSの吸収は十分であるが、糖の吸収が不十分となる。そこで、糖と殺菌剤を含む処理剤に移し替える2段階の前処理をするのが非常に効果的である。

⑤出荷…出荷期には予冷により品温を下げ、出荷・輸送中は5~7℃を目安とした低温輸送を行うことが理想的。低温での湿式輸送は最も理想的な出荷方法である。

カルタムス

P.86

■播種

発芽適温 20℃ 標準播種量（直播）約 6,600~8,800 粒/a

■作型

3~4月出荷…10~11月播き、冬期最低10℃に加温（暖地加温ハウスまたは極暖地露地）。

5月出荷…10/下~11月播き、無加温ハウス（暖地）。

5/下~6月出荷…1~3/上旬播き、無加温ハウス（暖~高冷地）。

6~7/上出荷…3~4月播き、露地栽培（暖~高冷地）。

9~11月出荷…7~8月播き、ハウス栽培（寒~高冷地）。

■定植密度

株間 20cm×条間 10cm [5条植え]

畝幅 50cm 通路 50cm 約 83 株/坪

株間 20cm×条間 20cm [5条植え]

畝幅 100cm 通路 50cm 約 55 株/坪

カレンジュラ（きんせんか）

P.88

きんせんか

■播種

発芽適温 20℃ 標準播種量（直播）約 8,000 粒/a

（移植）約 4,000 粒/a

■作型

12~1月出荷…早生系の8/上~中播き、10/上~中ピンチ。

1~3月出荷…中生系の8/中~9/上播き、10/下ピンチ。

■定植密度

株間 15cm [1条植え] 畝幅 30cm 通路 50cm 約 28 株/坪

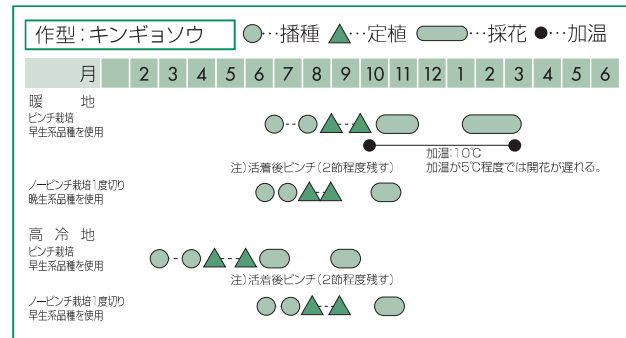
金魚草

P.72

■播種

発芽適温 20℃ 標準播種量 4,000~8,000 粒/a

■作型



■定植密度

株間 20cm×条間 10cm [8条の中2条抜き6条植え]

畝幅 80cm 通路 60cm 71 本/坪

株間 12cm×条間 12cm [6条植え]

畝幅 80cm 通路 60cm 118 本/坪

■栽培のポイント

最低夜温を5℃として栽培することが多いが、10℃程度に維持した方が、開花が早く、品質も良くなる（1.側枝が伸び過ぎない、2.節間が詰まる）。また夜温が低く、窒素過多となると茎折れが出やすくなる。

活着後本葉4枚（2節）残してピンチする。開花期の集中を防ぐために、ピンチ時期をずらすのも良い。ピンチを深くし過ぎると、開花の遅れや採花数が減少するので注意する。

■その他

ブライダルピンクは他の金魚草とはやや異なる特性を持っているため、栽培には下記の点に注意する。

- ・幼苗時に倒れやすい—下葉が丸く大きいので、風や灌水の影響を受けやすく苗が倒れやすい。灌水に注意すると共に下段のネットの柵目は小さめとし、低めに張る。
- ・花穂下の脇芽がやや伸びやすい—元肥を控えめとし、着蕾が確認できたら追肥をやらす灌水も控えめとする。
- ・2番の芽吹きが少ない—芽整理が少なく済む反面、栽培により2番の芽立ちが悪くなる場合がある。剪定は地上部20cm位残して行い、追肥または液肥の施用が効果的。

孔雀アスター

P.109

■作型

3〜4月出荷（超促成）
 …11/下〜12/上掘え置き株を刈り込み、最低13℃に加温。萌芽〜2/中電照。
 5月出荷（促成）
 …12月定植、1〜3月電照、最低13℃に加温。
 7〜8月出荷…4月定植、出荷50日前からシェード（高冷地向け）。
 9月出荷（季咲き）
 …10〜11月または3〜4月露地定植、6/上刈り込み草丈を抑える。
 10月出荷（抑制）
 …7/下〜8/上刈り込み、同時期〜9/中電照打ち切り。
 11〜12月出荷（超抑制）
 …8月定植、最低13℃に加温、萌芽〜10/中電照打ち切り。

■定植密度

促成・抑制栽培…株間30cm×条間40cm〔2条植え〕
 畝幅80cm 通路60cm 約16株/坪
 季咲き栽培…株間90cm〔1条植え〕
 畝幅30cm 通路60cm 約4株/坪

■その他

長日で草丈を伸ばし、短日で花芽を形成。電照とシェードを使い周年出荷が可能。
 電 照…100W電球を2.5m間隔でつける。自然日長+電照で16時間以上とする。

グラジオラス（春咲き）

P.108

■作型

3/中〜3/下出荷（半促成）
 …10〜11月定植（コンコロール）、ハウス内冬期5℃に加温。
 3/下〜4/上出荷（季咲き）
 …10〜11月定植（コンコロール）、露地栽培（暖地）。

■定植密度

株間10cm×条間10cm〔10条植え〕
 畝幅100cm 通路60cm 約206球/坪

■その他

土 壌…日当たり、風通し良く、耕土の深い水はけの良い土壌。連作や前作にアヤメ科を栽培した圃場は避け、定植前には土壌消毒を行う。
 肥 料…控えめ。特に窒素分が多いと、病気の原因となる。
 管 理…倒伏防止のためのフラワーネットを使用。

クラスペディア

P.88

■播種

発芽適温18〜20℃ 標準播種量1,000粒/a

■作型

出荷…暖地12〜6月（6〜9月播種）
 高冷地6〜10月（11〜12月播種）

■定植密度

株間30cm〔1条植え〕 畝幅30cm 通路60cm 約11株/坪

■その他

本来は宿根草だが成長が早いので園芸上1年草扱いとする。多湿に弱く長雨や排水不良では株が腐るので、ハウス栽培で、乾燥気味の管理が良い。
 草丈は1m前後、花立ちが多く1株当たり20〜30本切れる。採花期間も6〜10月と非常に長く労力も分散できる。

けいとう（セロシヤ）

P.79

けいとうは品種によってスタイルが大きく異なり、仕立て方も異なってくるため注意が必要。定植密度も多くの事例が知られているが、代表的なものを次に記す。

久留米系（久留米普通種、デリー、クリスタルビューティー）

■播種

発芽適温25℃ 標準播種量（直播）約40,000粒/a
 プラグ播種または箱播き

■作型

7〜9月出荷…開花から90〜100日を目安に播種。7月出荷は3月の播種となり育苗に温度が必要。
 クリスタルB、デリーは秋の需要も高く、施設加温、電照で10月以降出荷もある。

■定植密度

1本切り栽培…株間6cm×条間20cm〔4条植え〕
 畝幅80cm 通路60cm 約157本/坪

アレンジメント系

ルビーパフェ

■播種

発芽適温25℃ 標準播種量（直播）40,000粒/a（移植）約20,000粒/a

■作型

7〜10月出荷…出荷日より80〜90日を目安に播種。低温期はプラス10日ほどかかる。

■定植密度

1本切り栽培…株間12cm×条間12cm〔6条植え〕
 畝幅80cm 通路60cm 約118本/坪
 株間12cm×条間12cm〔8条植え〕
 畝幅100cm 通路60cm 約157本/坪

ローズベリーパフェ

■播種

発芽適温25℃（ローズベリーパフェはプラグ販売のみ）

■作型

9〜10月出荷…6〜7月定植、ピンチして枝切り。露地栽培にも向く。

■定植密度

ピンチ栽培…株間20cm×条間40cm〔2条植え〕
 畝幅80cm 通路60cm 約24本/坪
 草丈が高くなるので倒伏に注意する。

羽毛系

シルフィード

■作型

7〜9月出荷…5〜6月プラグ苗定植、草丈10〜15cmでピンチ。

■定植密度

ピンチ栽培…株間20cm×条間20cm〔4条植え〕
 畝幅80cm 通路60cm 約47本/坪
 株間30cm×条間30cm〔2条植え〕
 畝幅60cm 通路60cm 約18本/坪

けまん草（鯛釣草）

P.109

■作型

2〜3月出荷（促成）
 …11月定植、自然低温に遭わせた後1/中より最低温度10℃に加温。
 4〜5月出荷（季咲き）
 …11月定植。露地栽培。

■定植密度

株間40cm×条間30cm〔2条植え〕 畝幅60cm 通路60cm 約14株/坪

■その他

管 理…半日陰、有機質に富んだ圃場で栽培。バレンタインデーに合わせた促成栽培が人気。

ケローネ **P.108**

■作型
7～8月出荷（季咲き）
…10～11月または3～4月定植。露地栽培。

■定植密度
株間25cm×条間20cm〔2条植え〕 畝幅40cm 通路60cm 約26株/坪

■その他
管理…据置栽培が可能。3年位して株が混み合ってきたら掘上げて植え広げる。暖地では出荷間際の葉焼けに注意する。遮光も有効。

コスモス **P.87**

■播種
発芽適温20℃ 標準播種量（直播）約20,000粒/a
（移植）約10,000粒/a
（移植－ピンチ）約5,000粒/a

■作型
5～11月出荷…3～9月播種、播種後60～90日で出荷、低温期は最低5℃に保加温
12～4月出荷…8～2月播種、短日期で短小開花となるため、発芽後の電照必要

■定植密度
1本切り栽培…株間15cm×条間5cm〔6条植え〕
畝幅30cm 通路50cm 165株/坪
株間15cm×条間5cm〔7条植え〕
畝幅35cm 通路60cm 181株/坪
ピンチ栽培…株間20cm×条間20cm〔2条植え〕
畝幅50cm 通路60cm 約30株/坪

■その他
イエローキャンパス、オレンジキャンパス…ノーピンチ栽培の場合、大きくなり過ぎるので早播きは避け、7/20前後を目安に播種。暖地では露地栽培できるが、寒冷地や高冷地では霜害の危険があるのでハウス栽培。株間は通常の早生品種のノーピンチ栽培に準じる。ピンチ栽培の場合、ノーピンチよりやや早めに播種し、株間も広めにとる。

コスモス レッドイリュージョン

自然日長栽培：既存の流通品種に準じて栽培する。8月の高温時の開花、1～2月の低温時の開花は避ける。

電 照 栽 培：草丈の伸びにくい冬の短日期的場合、16時間日長に電照する。草丈70cmで電照を打ち切りし、最低8℃に加温すると、電照打ち切後、約30cm伸びる。

12月出荷：9月上旬播種、20cmの4目のネット。12cm×12cmの7条に3粒程度直播き。生育の初期に電照、最低8℃に加温。

3月中旬出荷：12月中旬播種、最低5℃～8℃加温。播種後から電照。電照打ち切りの目安は2月中旬。

サ行

ジニア（百日草） **P.89**

■播種
発芽適温20℃ 標準播種量（直播）約2,000～15,000粒/a

■作型
6～11月出荷…3～8月播種。
3～5月出荷…12～2月播種、最低夜温10℃。

■定植密度
1本切り栽培…株間10cm×条間10cm〔10条植え〕
畝幅100cm 通路50cm 約220株/坪
ピンチ栽培…株間25cm×条間25cm〔4条植え〕
畝幅100cm 通路50cm 約35株/坪

■その他
クイーンライムは中小輪品種のため、40～60cmの枝切り出荷。頂花の蕾が見えたら頂花をピンチし、脇芽をふかせて枝切りしていく。そのため定植密度はピンチ栽培（株間25cm×条間25cm、4条植え）程度とる必要がある。また高日照期の開花は高い八重率であるがその他品種同様低日照期の開花では若干一重の率が多くなる傾向があるので注意。

シレネ **P.88**

サクラコマチ

■作型
12～5月出荷（ノーピンチ栽培）
…8～1月播き、9～2月定植、冬期電照〔16時間日長〕、最低12℃加温

■定植密度
株間15cm×条間15cm〔5条植え〕 畝幅80cm 通路60cm 約79株/坪

■その他
電照することで開花促進し、草丈を伸ばすことができる。

シンフォリカルポス **P.110**

■作型
10～12月出荷（季咲き）…3～5月定植、露地栽培。

■定植密度
株間50cm〔1条植え〕 畝幅40cm 通路70cm 約6株/坪

■その他
定植後2年目の出荷後、冬期は地際より3～4節ほど残して台刈りし、翌春芽吹いてくる枝に実をつけさせ収穫する。

スカビオサ **P.88**

コーカシカ種

■播種
発芽適温20℃ 標準播種量約1,000～2,000粒/a

■作型
11～5月出荷…4～5月播き、6/上～7/上プラグ苗定植、9月より電照、最低8℃に加温（暖地向き）
2～6月出荷…7月播き、9月プラグ苗定植、冬期最低6℃に加温（暖～中間地向き）
7～10月出荷…2～3月播き、4～5月プラグ苗定植、露地栽培（寒冷地向き）

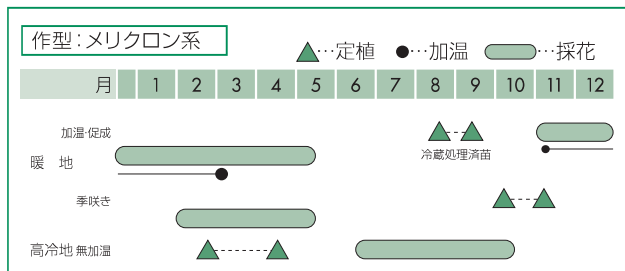
■定植密度
株間20cm×条間40cm〔2条植え〕 畝幅80cm 通路60cm 約24株/坪
株間25cm×条間40cm〔2条植え〕 畝幅80cm 通路60cm 約19株/坪

■その他
宿根草だが一般に一年草扱いをする。
病 害 虫…ダニ類の防除を定期的に行う
ファーマシリーズは、株を作り過ぎると芯焼け症状が出やすい傾向があるため元肥は控え、株の様子を見ながら液肥等で管理する。

スターチス シニユアタ

P.57

■作型



■定植密度

株間 40cm×条間 30cm〔2条植え〕 畝幅 60cm 通路 60cm 14 株/坪
株間 40cm×条間 40cm〔2条植え〕 畝幅 80cm 通路 60cm 12 株/坪
株間 40cm〔1条植え〕 畝幅 50cm 通路 60cm 8 株/坪

■栽培のポイント

半耐寒性種。30℃以上の高温下もしくは5℃以下の低温下では生育が鈍くなる。霜に当たると枯死するので注意する。生育適温は20℃前後。低温遭遇によって花芽分化する。長日条件下で開花が促進する。灰色カビ病防止の為、換気を心掛ける。

- ・秋 定 植：定植前は圃場の地温を下げておく。初期 35℃/20℃（昼/夜）を越すような高温が続くと脱春化し不抽だいしやすくなるので注意。初期はしっかり灌水、活着後は徐々に灌水を減らす。霜や氷点下にはさらさない。
- ・春 定 植：定植前は圃場の地温を確保しておく。霜や氷点下にさらさない。初期はしっかり灌水、活着後は徐々に灌水を減らす。

■圃場準備

定植前に土壤消毒を徹底する。土壌 pH は 6.5、EC は 0.5 前後が望ましい。元肥として 1a あたり完熟堆肥 200kg、N-P-K = 0.7 : 1.4 : 1.2 (kg) を目安として施与する。

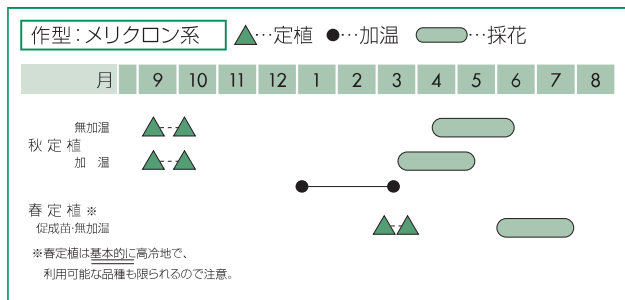
■収穫

しっかり咲かせてから収穫を行う。前処理は特に必要ない。

スターチス ニューハイブリッド

P.63

■作型



■定植密度

株間 40cm×条間 40cm〔2条植え〕 畝幅 80cm 通路 60cm 12 株/坪
株間 40cm〔1条植え〕 畝幅 50cm 通路 60cm 8 株/坪

■栽培のポイント

耐寒性種。かなりの低温に耐える。株の浮き上がりを防ぐため霜には当てないようにする。生育適温は20℃前後。低温遭遇によって花芽分化し、長日条件で開花が促進する。日当たりの良いところで栽培する。

■定植後

定植初期はしっかりと水を与え活着を促す。株が急激に大きくなってきたら灌水を控えていく。株を十分に大きくしてから冬期の低温に遭遇させる。抽だいしてきたら最初の中心の花茎を 15cm ほど伸長したときに下 5cm ほど残してピンチし、脇の枝を切花用とする。抽だい後は灌水を少なめにし、茎が柔らかくならないようにする。

■圃場準備

定植前に土壤消毒を徹底する。土壌 pH は 6.5、EC は 0.5 前後が望ましい。元肥として 1a あたり完熟堆肥 300kg、N-P-K = 1 : 1.5 : 1 (kg) を目安として施与する。日当たり良い圃場を選ぶ。

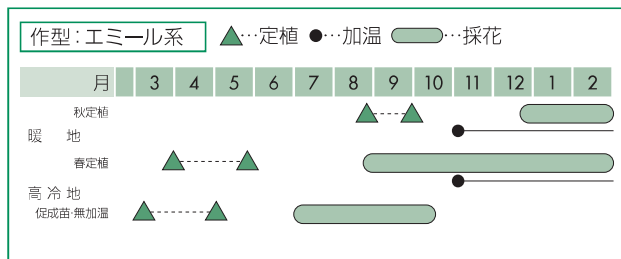
■収穫

しっかり咲かせてから収穫を行うのが基本だが花落ちの心配のある品種については 8 分咲き程度が良い。前処理は特に必要ない。

宿根リモニウム

P.66

■作型



■定植密度

株間 40cm×条間 40cm〔2条植え〕 畝幅 80cm 通路 60cm 12 株/坪
株間 40cm〔1条植え〕 畝幅 50cm 通路 60cm 8 株/坪

■栽培のポイント

半耐寒～耐寒性種。霜には当てない方がよい。生育適温は20℃前後。季咲き品種は低温遭遇によって花芽分化。長日条件下で開花が促進する。日当たりの良いところで栽培する。ツールエミールは冬期 12℃程度の加温で連続抽だいする。

■定植後

定植初期はしっかりと水を与え活着を促す。株が急激に大きくなってきたら灌水を減らしていく。抽だい後は灌水を少なめにし、茎が柔らかくならないようにする。

■圃場準備

定植前に土壤消毒を徹底する。土壌 pH は 6.5、EC は 0.5 前後が望ましい。元肥として 1a あたり完熟堆肥 300kg、N-P-K = 1.5 : 3 : 1.5 (kg) を目安として施与する。日当たり良い圃場を選ぶ。

■収穫

8 分咲き程度で収穫する。市販のスターチス専用前処理剤等を用いて前処理を行ったのち、出荷する。

ストック

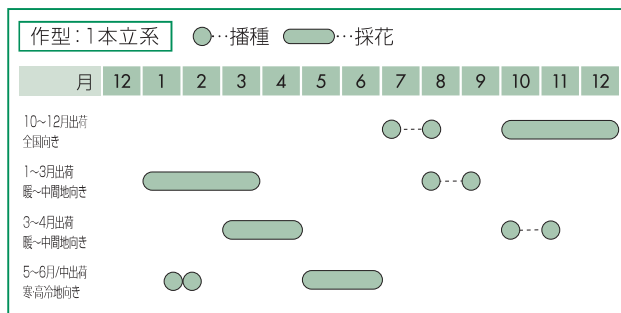
P.34

■播種

発芽適温 20℃ 10ml = 約 2600 粒

1 本立系

■作型



■定植密度

株間 12cm×条間 12cm〔7条植え〕 畝幅 90cm 通路 60cm 128 本/坪
株間 12cm×条間 10cm〔9条植え〕 畝幅 110cm 通路 60cm 146 本/坪

栽培)

12/下～3月出荷

…7/中～8月播き 9～10月定植 冬期最低10℃（ハウス栽培、または暖地・露地栽培）

■定植密度

株間20cm×条間20cm〔2条植え〕 畝幅40cm 通路40cm 約41株/坪

■播種

発芽適温18～20℃ 標準播種量（移植）約12,000粒/a

■作型

12～2月出荷…極早生系の6/下～7月播き、冬期最低10℃（ハウス栽培）
2/下～4月出荷…極早生～早生系の8/上～中播き、12/末～1/上ビニール被覆し、保温（暖～中間地）。

3/下～6月出荷…早生～晩生系の8～9/上播き（露地栽培）。

■定植密度

促成栽培…株間20cm×条間20cm〔2条植え〕
畝幅40cm 通路40cm 約41株/坪

露地栽培…株間30cm×条間15cm〔3条植え〕
畝幅45cm 通路40cm 約39株/坪

ダイアンサス(テマリソウ)・カーネーション(キウイグリーン) P.90

■作型

11～1月出荷…8～9月定植/2～6月出荷…10～1月定植。（暖地）
5～9月出荷…12～5月定植。（高冷地）

■定植密度

株間15cm×条間30cm〔2条植え〕 畝幅60cm 通路60cm 約37本/坪

■定植

ネットは1～2段、15cm×5マス程度、プラグ苗は深植えしないこと。灌水は、苗が活着するまで十分に行い、その後は地表面の乾き程度で行う。

■ピンチ

定植時期によりピンチまでの日数は異なるが、10節前後でピンチを行い、10本前後、芽を立たせる。株が出来てないうちに低節位でピンチを行うと芽吹きが悪く、本数が切れない。

■その他

冬期最低5℃程度。加温温度により開花時期は前後する。採花時期は全体的に丸みを帯びた頃。低日照時期はボールが乱れやすくなる。

例：北海道 ▲…定植 ■…ピンチ ○…採花

月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

高冷地

例：山梨 冬期夜温/5～8℃

月 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9

高冷地

注)ピンチはノーピンチ、ピンチの両方行う。ノーピンチの方が若干早く芯の茎が切れる。

例：福島

月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

高冷地

例：和歌山 冬期夜温/3～5℃

▲…定植 ★…ポット上げ ■…ピンチ ○…採花

月 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9

暖地

注)ピンチはノーピンチ、ピンチの両方行う。ノーピンチの方が若干早く芯の茎が切れる。

ダリア P.67

■作型

暖地：秋～春出荷…7～9月定植。定植直後より電照（14～16時間日長）。冬季最低10℃に加温。

高冷地：春～秋出荷…4～5月定植。

■定植密度

株間40cm×40cm〔2条植え〕 通路50cm 約13株/坪

■その他

草丈が伸びるために倒伏防止用ネットは最低3段張る。糖分入りの前処理剤で水揚げを行う。

デルフィニウム P.50

■播種

発芽適温15～20℃

■シネンシス系

■作型

作型：シネンシス系

○…播種 ▲…定植 ○…採花 ●…加温

月 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8

暖地

高冷地

電照+加温

注)8/末～9/上の定植は高温障害の危険性がある。

■定植密度

暖地：株間20cm×条間20cm〔4条植え〕

畝幅90cm 通路60cm 44本/坪

高冷地：1度切り 株間12cm×条間12cm〔7条植え〕

畝幅90cm 通路60cm 128本/坪

2度切り 株間20cm×条間20cm〔4条植え〕

畝幅90cm 通路60cm 44本/坪

■ワルツ系・トリック系

■作型

作型：ワルツ系・トリック系

▲…定植 ○…採花 ●…加温

月 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8

暖地

水のワルツ

トリック系

空のワルツ

高冷地

水のワルツ

トリック系

空のワルツ

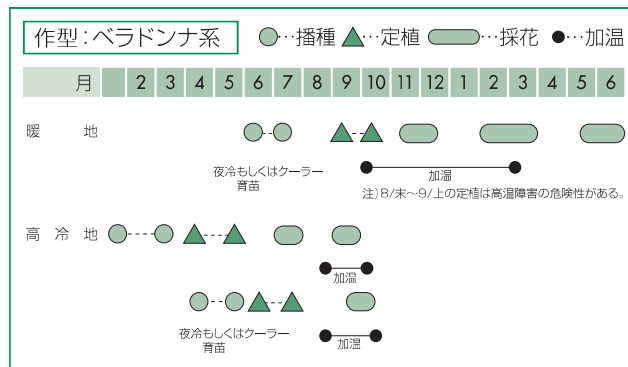
加温12℃
注)8/末～9/上の定植は高温障害の危険性がある。

■定植密度

暖地：株間 30cm×条間 30cm [2 条植え]
畝幅 70cm 通路 60cm 17 本/坪
高冷地：株間 30cm×条間 30cm [2 条植え]
畝幅 70cm 通路 60cm 17 本/坪

ペラドンナ系

■作型

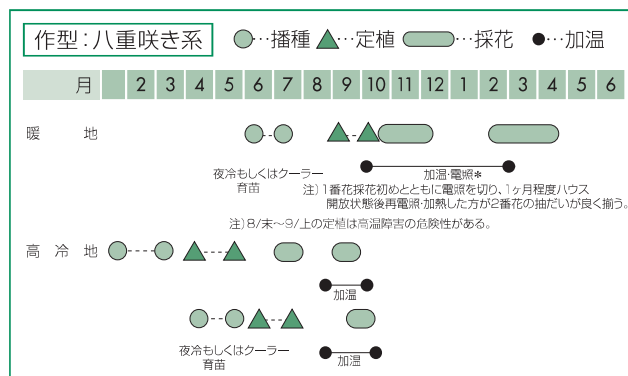


■定植密度

暖地：株間 20cm×条間 20cm [4 条植え]
畝幅 90cm 通路 60cm 44 本/坪
高冷地：1 度切り 株間 15cm×条間 15cm [6 条植え]
畝幅 100cm 通路 60cm 83 本/坪
2 度切り 株間 20cm×条間 20cm [4 条植え]
畝幅 90cm 通路 60cm 44 本/坪

八重咲き系

■作型



■定植密度

暖地：株間 20cm×条間 20cm [4 条植え]
畝幅 90cm 通路 60cm 44 本/坪
高冷地：1 度切り 株間 15cm×条間 15cm [6 条植え]
畝幅 100cm 通路 60cm 83 本/坪
2 度切り 株間 20cm×条間 20cm [4 条植え]
畝幅 90cm 通路 60cm 44 本/坪

■栽培のポイント

強い耐寒性を持つ反面、耐暑性に劣る。そのため暖地では1年草として扱う。生育適温は20℃前後、生育初期に25℃を越すような高温と長日条件下で著しく早く花芽分化が進み、短小開花する。そのため高温期の定植（暖地の9月、高冷地の6～7月）の場合、早期抽だい予防と活着を促すために、定植前にハウス外に寒冷紗を張り、ハウス内気温を下げる。さらに灌水チューブなどでたっぷり水を与え地温を下げる。低温、短日条件になるとロゼットするが、これを打破するためには、ある一定期間の低温に遭遇する必要がある。

■育苗

発芽適温は15～20℃。播種から2週間程度で発芽が揃う。播種する際には5mm程度覆土する。暖地での年内出荷用（6～8月播種）、高冷地での秋出荷用（5～6月播種）の育苗を行う時、高温期にあたるため、クーラー育苗もしくは山上げ育苗を行う。日中

は25℃以下に、夜温は15℃以下に維持する。暖地での年内出荷を目指す場合、9月上旬からの定植になり、定植直後に抽だいしやすく、十分な切り花品質を得ることが難しい。そのため抽だいまでに十分な葉数を確保することが必要で大苗を準備し定植するのが無難である。

■圃場準備

定植前に土壤消毒を徹底する。土壌 pH は 6.5 前後、EC は 0.3～0.5mS/cm が望ましい。元肥として、1a あたり完熟堆肥 200kg、N-P-K は各成分で 1～1.5kg ずつを目安として施与する。

■収穫

低温期は花穂の70%程度、高温期は30%程度開花した時、下位の側枝や葉を除去して、必ずSTS剤で前処理する。

唐ごま（花ひま）

P.91

■播種

発芽適温 20℃ 標準播種量（直播－株切り）約 3,200 粒/a
（直播－枝切り）約 8,000 粒/a

■作型

7～9 月出荷（1 本切り）または 9～10 月出荷（枝切り）
…3/下～6 月直播き

■定植密度

1 本切り…株間 8cm（間引き）[1 条植え]
畝幅 0m 通路 70cm 約 59 株/坪
枝切り…株間 45cm [1 条植え]
畝幅 0cm 通路 70cm 約 10 株/坪

トリフォーラム

P.91

ツインキャンドル

※宿根草なので 2 番花、3 番花の採花が可能。

■作型

8/中旬定植…12 月出荷、2 月出荷。11 月から加温 10℃、電照開始（抑制栽培）。

9/月上旬定植…1 月出荷、3 月出荷。加温 10℃、電照（促成栽培）。

■定植密度

株間 15cm×条間 15cm [2 条植え] 畝幅 30cm 通路 60cm 約 49 株/坪

■その他

クリザール K-20C、ハイフローラで処理します。

ハ行～マ行

ハイドランジア（あじさい）

P.115

■作型

7～8 月出荷（季咲き）
…10～11 月または 4～5 月定植。定植 1 年目は株養成。露地栽培。

■定植密度

株間 60cm [1 条植え] 畝幅 20cm 通路 100cm 約 4.6 株/坪

■その他

ミナヅキとユニークは当年枝に花を付けるので、冬期は地際より 3～4 節残して台刈りしておく。アナベルは枝を残した方が花付きが良い。

花菜

P.94

■播種

発芽適温 18～20℃ 標準播種量（直播）2～3dl/a（1dl = 約 23,000 粒）

■作型

12～2 月出荷…極早生～早生系の 9/上～10/下直播き
2～3 月出荷…早生～晩生系の 10/中～11/上直播き

■定植密度

株間 20cm×6cm（間引き）[4 条植え]
通路 50cm 約 200 株/坪
株間 20cm×条間 6cm（間引き）[4 条植え]
畝幅 25cm 通路 50cm 約 88 株/坪

ハボタン

P.92

■播種

発芽適温 25℃

■作型

11 月 出 荷…7 月播種、8 月定植（露地）。

12 月 出 荷…8 月播種、8/下旬定植（露地）。

■定植密度

株間 15cm×条間 15cm〔4 条植え〕 畝幅 60cm 通路 60cm 約 73 株/坪

株間 12cm×条間 12cm〔6 条植え〕 畝幅 80cm 通路 60cm 約 120 本/坪

■その他

切り花として草丈を伸ばすには、7/中旬播種の方が良い。

本葉 15 枚頃（草丈 30cm 頃）から順次、下葉を落として換気を良くし、茎の太りを抑える。

灌水は、定植直後は十分に行い活着を促すが、以降は控え目にし、茎が曲がらないように注意する。

ブラチナケール栽培上の注意点

基本的には従来のハボタンと同じ栽培だが、ブルームがなくなったことにより、環境・温度・肥料など栽培環境に影響されやすい。

- ・病害虫（コナガ、べと病など）が付きやすいので、早めの防除を心掛ける。
- ・従来種と比べ着色が早く、色戻りはしやすい。
- ・肥料が切れると葉のツヤが落ちるため、着色の 1ヶ月前までは極端に肥料切れしないよう管理する。最低夜温が 12～13℃を下回る頃から着色に向けた生育に入り、約 1ヶ月後着色するが色戻りを考慮し肥料は控え気味とし、必要な場合には短期間に肥効が切れる液肥などで追肥する。
- 温度の影響を受けやすく暖かい環境では節間が伸長しやすくなる。ハウスで栽培する場合、着色へ生育が移った後は、日中の温度が上がり過ぎないようにサイドを開け、換気に十分注意する。

照葉ハボタンの育成方法に関する特許について

タキイ種苗株式会社は、葉面にワックス成分が実質的に分泌、付着されず葉面に光沢を持つハボタン品種の育成方法に関する特許を、取得しております。

これらの掲載品種はこの特許技術を利用しております。
 (特許第 4256687 号 発明の名称『新奇なハボタン品種の育成方法』)

ビブルナム

P.110

スノーボール

■作型

5～6 月出荷（季咲き）

…10～11 月または 4～5 月定植。1～2 年は株養成。露地栽培。

■定植密度

株間 60cm〔1 条植え〕 畝幅 20cm 通路 100cm 約 4.6 株/坪

■その他

前年に伸びた枝の葉腋に花を付ける。8 月以降は剪定しない。

ティナス

■作型

暖地、中間地向き（露地）

…4～5 月定植—3 月開花—11 月実物。

暖地、中間地向き（施設）

…4～5 月定植—1 月開花—10 月実物。

夏期遮光。冬期無加温。

■定植密度

株間 60cm〔1 条植え〕 畝幅 20cm 通路 100cm 約 4.6 株/坪

■その他

秋の実付きが悪い場合がある。施設内で花粉を交配させた方が実付きは良くなる。暖地また、露地は実付きが悪い。

ヒマワリ

P.95

■播種

発芽適温 20～25℃

普通種 周年タイプ

■作型

周年 出 荷…播種後 45～70 日で開花。冬期最低 13℃に加温。

■定植密度

促成栽培…株間 12cm×条間 12cm〔7 条植え〕

畝幅 90cm 通路 50cm 約 138 株/坪

露地栽培…株間 15cm×条間 15cm〔2 条植え〕

畝幅 30cm 通路 50cm 約 55 株/坪

普通種 季咲きタイプ

■作型

4～8 月播き、播種後 60～80 日で開花。最低 10℃に加温。

■定植密度

促成栽培…株間 12cm×条間 12cm〔7 条植え〕

畝幅 90cm 通路 50cm 約 138 株/坪

露地栽培…株間 15cm×条間 15cm〔2 条植え〕

畝幅 30cm 通路 50cm 約 55 株/坪

■その他

出 荷…前処理剤で処理する。

姫ひまわり

P.115

■作型

4 月出荷(促成)…自然低温にあてた大株を 1/中～下にハウス内に定植。最低 12℃に加温、電照。

5～6 月出荷（半促成）

…冬期自然低温にあてた大株を 1～2 月にハウス内定植。温度管理で出荷期を調整。

6～8 月出荷（季咲き）

…10～11 月または 3～4 月に定植。露地栽培。

9～10 月出荷…6 月中に採花、切り戻しをして 2 番花を出荷（暖地向け、草丈短い）。高冷地は花が遅いため春改植してピンチすると、9 月の採花が可能。

■定植密度

促成栽培…株間 25cm×条間 25cm〔3 条植え〕

畝幅 75cm 通路 60cm 約 29 株/坪

季咲き栽培…株間 30cm〔1 条植え〕

畝幅 30cm 通路 60cm 約 12 株/坪

■その他

施肥は控え目にし、倒伏防止にネットを張る。

ブプレウラム

P.94

■播種

発芽適温 15℃ 標準播種量（直播き）約 10,000 粒/a

■作型

11～1 月出荷…8～9 月播き、9～10 月プラグ苗定植、電照、冬期最低 10℃に加温。

2～4 月出荷…9 月中旬～12 月播き、電照、冬期最低 10℃に加温。

5～6 月出荷…10 月播き、冬期最低 5℃（暖地、中間地）。

7～11 月出荷…4～8 月播き（寒高冷地）。

■定植密度

株間 15cm×条間 15cm〔5 条植え〕 畝幅 80cm 通路 50cm 約 85 株/坪

ブルーレースフラワー P.101

■播種

発芽適温 20℃ 標準播種量 約 8,000～10,000 粒 /a

■作型

11～2月出荷…6～8月播き、8～10月プラグ苗定植、10/上より電照、最低 5℃に加温。

3～7月出荷…8～3月播き、または 10～4月プラグ苗定植、冬期最低 5℃。

7～10月出荷…2～6月播き、4/下～7月定植（寒高冷地向き）。

■定植密度

株間 20cm×条間 20cm〔4条植え〕 畝幅 80cm 通路 60cm 約 47 株/坪

■その他

長日性で一般的に播種後 4～5ヵ月で開花。ハウスによる促成栽培では日照不足や換気不良により、枝が柔らかくなったり花色が薄くなったりしやすいので注意。夜温も 5℃程度に抑えて、しっかりしたものを切る。温度が低いと発芽しにくいため注意。

フロックス P.115

パニキュラータ

■作型

4～5月出荷（促成）

…据え置き株を 1 月より最低 10℃に加温。

6～7月出荷（季咲き）

…10～11月定植。露地栽培。

■定植密度

株間 40cm×条間 40cm〔2条植え〕 畝幅 80cm 通路 60cm 約 12 株/坪

ベロニカ P.116

ロンギフォリア

■作型

4～5月出荷（促成）

…10～11月ハウス内定植、無加温。1/下からの保・加温の程度により出荷期を調整。

5～7月出荷（季咲き）

…10～11月定植。露地栽培。

■定植密度

株間 40cm×条間 30cm〔2条植え〕 畝幅 60cm 通路 60cm 約 12 株/坪

■その他

やや多肥栽培とした方が品質の良い切花を得ることができる。寒冷地では 3～4 年の据置栽培が可能だが、暖地では株が混み合う前に掘上げ植え広げた方が生育が良くなる。夏の高温乾燥は苦手なのでマルチや 20%程度の遮光をすると良い。うどんこ病に弱く、アブラムシが付きやすい。

マトリカリア P.102

■播種

発芽適温 20℃ 標準播種量 1,000～2,000 粒/a

■作型

5～7月出荷…1～2月播き、2/上～3月定植、1回ピンチ、最低 10℃（ハウス栽培）。

7～11月出荷…3～6月播き、4/下～7月定植、1回ピンチ。

11～12月出荷…8月播き、9月定植、1回ピンチ、最低 6℃（ハウス栽培）。

■定植密度

株間 30cm×条間 30cm〔2条植え〕 畝幅 60cm 通路 70cm 約 17 株/坪

マリーゴールド P.102

■播種

発芽適温 15～20℃ 標準播種量＝約 18,000 粒/a

■作型

11～5月出荷…6～11月播き、定植後 2～3週間後 7～8節残してピンチ、脇芽伸張開始から電照開始。

5～7月出荷…12～2月播き、無加温ハウス（暖地、中間地向き）。7～10月出荷…3～6月播き、雨除けハウス、ノーピンチ栽培（高・寒冷地向き）。草丈を伸ばすのにジベレリン 25ppm の 2 回散布が効果あり（草丈 10～15cm およびその 10 日後）。

■定植密度

1本切り栽培…株間 12cm×条間 12cm〔7条植え〕
畝幅 90cm 通路 60cm 約 128 株/坪

ピンチ栽培…株間 30cm×条間 20cm〔2条植え〕
畝幅 70cm 通路 60cm 約 17 株/坪

ミレット P.101

■播種

発芽適温 15～23℃ 標準播種量（移植）1,500～3,000 粒/a

■作型

7～8月出荷…4～5月播種（直播き、またはプラグ播き〔128穴。若苗で定植〕）。

■定植密度

株間 10cm×条間 20cm〔2条植え〕 畝幅 40cm 通路 80cm 約 55 株/坪

株間 15cm×条間 30cm〔2条植え〕 畝幅 60cm 通路 80cm 約 31 株/坪

■その他

耐寒性なく晩霜に注意。施肥と灌水は控える。開花期（花粉の出る前）に採花する。

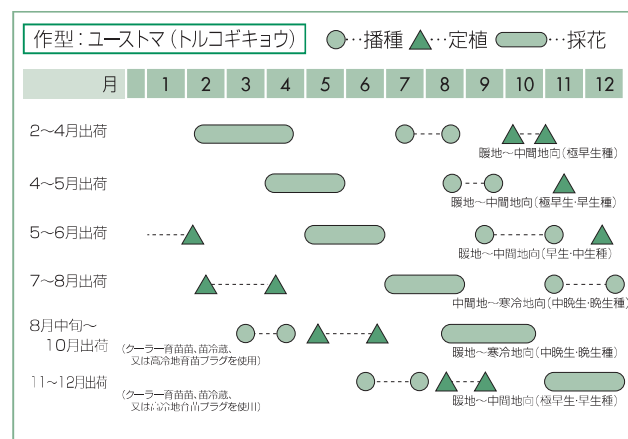
ヤ行～ワ行

ユーストマ（トルコギキョウ） P.14

■播種

発芽適温 15～25℃ 標準播種量（移植）5,000～8,000 粒/a

■作型



2～4月出荷…極早生～早生種の 7/下～8/中播き、または 10/上～11/中プラグ苗定植、最低 15℃に加温、（品種により電照効果あり）。

4～5月出荷…極早生～早生種の 8/下～9/上播き、11/中までに定植、最低 10℃に加温、2/上～4/上は最低 15℃に加温（暖地～中間地向き）。

5～6月出荷…早生～中生種の 9/中～11/上播き、または 12/中～2/上定植、無加温（暖地～寒冷地向き）、もしくは 2/上～4/上は最低 15℃に加温（暖地～中間地向き）。

7～8月出荷…中生～中晩生品種の 11/上～12/下播き、2/中～4/上定植、無加温（中間地～寒冷地向き）

8/中～10月出荷
…中晩生～晩生品種の 3～4/中播き、または 5/上～6/下プラグ苗定植、定植後 30 日間のシェード（9 時間日長）は草丈伸長に効果（暖地～寒冷地向き）。（クーラー育苗、苗冷蔵又は高冷地育苗プラグを使用）

11～12月出荷…暖地～中間地向き、早生～中生種の8月下旬プラグ苗定植、最低15℃加温。
定植前後1週間はハウス温度を下げるため遮光（暖地～中間地向き）。（クーラー育苗、苗冷蔵又は高冷地育苗プラグを使用）

■定植密度

暖地～中間地…株間12cm×条間12cm〔6条植え〕
畝幅80cm 通路60cm 118株/坪
株間12cm×条間12cm〔8条植え〕
畝幅100cm 通路60cm 138株/坪

寒 冷 地…株間12cm×条間12cm〔6条植え〕
畝幅80cm 通路60cm 118株/坪
株間12cm×条間12cm〔9条植え〕
畝幅110cm 通路60cm 146株/坪

■その他

遅出し栽培…植傷みをさせず活着をスムーズにする、活着後は液肥施用などで初期生育を旺盛にする、花芽分化までは温度を低めに保つことなどがボリュームを作るポイント。最低13℃に加温。10月以降の出荷となる場合、9月は2時間（深夜）、10月は3時間程度電照を行うとより効果的である。暖～高冷地において、よりボリュームを作りたい時にはシェード栽培が有効。処理は定植直後より30日間とし、夕方5時から翌朝8時まで100%遮光、9時間日長とする（高温期は夜間開放）。シェード栽培は普通栽培より開花が約10日程度遅くなる。

促成栽培…暖～中間地向き、最低13℃に加温、20℃以内で高温ほど開花促進の効果あり。電照は開花促進の効果が高いが、夜温が低いと効果劣る。12～3月の期間、16時間日長となるように電照する。

■圃場準備

定植前に土壤消毒を徹底する。土壌pHは6.5前後、ECは0.3～0.4mS/cmが望ましい。元肥として、1aあたり完熟堆肥200kg、N-P-Kは各成分で1～1.5kgずつを目安として施与する。

■収穫

前処理剤使用により花持ち延長効果あり。STS＋糖を含むものがより効果的。

ユウギリソウ

P.102

■作型

3～4月出荷…12月プラグ苗定植、草丈15cm頃より電照、最低夜温13℃に加温（日照量の多い暖地向き）。

■定植密度

1本切り栽培…株間12cm×条間12cm〔6条植え〕
畝幅80cm 通路60cm 約157本/坪

枝切り栽培…株間15cm×条間15cm〔5条植え〕
畝幅90cm 通路60cm 約88本/坪

■その他

日照不足は開花遅く、また品質も悪くなりやすいため、低温、低日照期は電照、加温を行う。肥料過多は品質の低下、開花遅延の原因となるため様子を見ながら液肥等で生育をコントロールしていく。

ラナンキュラス

P.103

■作型

1～4月出荷…10月下旬プラグ苗定植。冬期最低5℃以上にする。

■定植密度

株間30cm×条間25cm〔2条植え〕 畝幅50cm 通路50cm 約22株/坪

■その他

25℃以上の高温により休眠が誘導されるために、定植前から遮光などでハウス内の気温を下げ、あらかじめ定植床に十分灌水しておき、地温上昇を防ぐ。

ルスカス

P.116

■作型

周年出荷…10～11月または3～5月定植。（寒高冷地は冬期凍らない程度に保・加温）

■定植密度

株間30cm〔1条植え〕 畝幅0cm 通路70cm 約16株/坪

■その他

定植して2～3年は株を養成する。栽培年数が非常に長く、15年程度は連続して切葉可能。排水の良い砂質土を好み、葉焼け防止には春から秋にかけて50～70%の遮光を行う。出荷は、春先に伸びた枝を何回かに分けて切り葉し、翌春のためにしっかりとした枝を2～3本残す。

ルドベキア

P.116

タカオ

■作型

2～5月出荷（促成）

…10～11月ハウス内定植。最低13℃に加温、電照。

8～9月出荷（季咲き）

…10～11月または3～4月定植、5/中～下に1回ピンチ。

10～11月出荷…5月と6/下の2回ピンチ、または2番花出荷。

■定植密度

株間45cm〔1条植え〕 畝幅30cm 通路60cm 約8株/坪

■その他

土質は特に選ばない。施肥は控える。開いた花が傷みにくく、採花した後、蕾は開かないので、スプレイ状に数輪花が開いてから採花する。やや水揚げしにくいので、涼しい時間帯に採花して、大きな葉を落とし、STS処理する。日長処理による出荷調整が容易で、ピンチ栽培と組み合わせると長期出荷可能。

忘れな草

P.101

■作型

1～3月出荷…10月定植、1月より開花（ナノブルー）。10℃加温。

2～3月出荷…10月定植、2月より開花（ナノブルー）。暖地無加温。

■定植密度

株間25cm〔1条植え〕 畝幅30cm 通路50cm 17本/坪

株間25cm×条間30cm〔2条植え〕 畝幅60cm 通路60cm 22本/坪

■その他

電照は株が充実してから、16時間以上の日長になるように行う。

われもこう

P.116

■作型

9～10月出荷（われもこう/季咲き）…前年11月定植。

高冷地の場合、春定植して、1年目は株養成する。

■定植密度

株間30cm×条間30cm〔2条植え〕 畝幅60cm 通路60cm 約18株/坪

■その他

管 理…排水良く、適湿を保つのが理想で、暖地では夏は半日程度、日陰になる涼しい場所が良い。高冷地ではあまり場所を選ばない。窒素肥料は控える。露地栽培も可能であるが、雨よけ栽培でより品質が高くなる。ハウス栽培の場合、夏は遮光して高温と乾燥を防ぐ。倒伏防止に目の粗いネットを張る。

病 害 虫…うどんこ病、アブラムシ、ヨトウムシ、ハマキムシ、コガネムシ等にご注意。

切 り 前…早切りし過ぎると水揚げが悪い。